

4 学校との連携事業

美術作品鑑賞教室

事業内容

所蔵作品や鑑賞ツールを活用した鑑賞授業を実施することにより、美術館と学校及び地域との連携を図る方策を調査・研究及び提案することを目的とする。

平成21年度は、ネットワーク美術館展（p.30参照）との関連授業や、前年度に作成したアートカードの活用授業なども含め、小・中・高等学校11校により実施。教師と学芸員等が協力して鑑賞授業を行うことで、作品の理解を深め、児童・生徒が豊かな感性を育む機会を提供した。（統括担当者：藤崎 綾）

実施形態

主に次の三形態により実施した。

- (1) 鑑賞授業A（所蔵作品を学校に持ち込む）
- (2) 鑑賞授業B（所蔵作品を持ち込まない）
- (3) 鑑賞授業C（ネットワーク美術館展（p.30参照）の関連授業）

(1) 鑑賞授業A（所蔵作品を持ち込む）

①竹原市立東野小学校（4年生・17人）

実施日時／10月7日（水） 10：25～12：00

鑑賞作品／芥川 永《雲になった蛙》・鈴木 治《神経質な鳥》・
山本常一《夜の標》・吉原英雄《ガラスの向う側》・
吉原英雄《蟻の観察》

授業目標／1. 芥川、鈴木、山本作品の鑑賞を通して、自由な表現のおもしろさに触れる。

2. 吉原作品の鑑賞を通して、お話作りを楽しむ。

授業内容／1. 全作品を各自鑑賞後、第一印象をワークシートに書き込む。

2. 吉原作品について、描かれた動物の気持ちを考えながら、お話を作り、発表する。

3. 全作品の作品名を考え、ワークシートに書き込み、発表する。



②福山市立蔵王小学校（6年生・22人）

実施日時／10月23日（金） 13：30～14：15

鑑賞作品／鈴木 治《神経質な鳥》・林 康夫《緑の滴》

授業目標／作品をいろいろな見方で鑑賞し、そのよさやおもしろさ、作者の表現の工夫、思いや意図について話し合う。

授業内容／1. 形や色、材料、素材感に着目して気付いたことや感じたことを各自発表する。

2. 好きな作品を選び、理由とともに発表する。



③尾道市立長江小学校（全学年 146人）

実施日時／11月4日（水） 9：30～12：20（2学年ごとに別れ各45分ずつ実施）

鑑賞作品／静物画 一 小林千古《やし（静物）》・中谷ミユキ《パパイヤ》

風景画 一田中万吉《サントロッペの漁港》・檜山武夫《機関庫》
人物画 一田中万吉《うつむける女》・手島守之輔《ゆかたの少女》

授業目標／1・2年生

1. 作品を鑑賞して、楽しむことができる。
2. 思ったこと、感じたことを素直に表現することができる。
3. 絵の違いに気付くことができる。

3・4年生

1. 興味を持って鑑賞し、楽しもうとする。
2. 表現の仕方の違いを比べることができる。
3. 作者によって描き方が違うことに気付く。

5・6年生

1. 3組の作品（静物画・風景画・人物画）がそれぞれ対比された内容であることに気付き、楽しむことができる。
2. 表現の仕方や表現の意図、特徴をとらえることができる。
3. 作者の思いや個性によって表し方の違いが生まれていることに気付く。



授業内容／1. 全作品を鑑賞し、思ったことや感じたことを発表する。

2. 1・2年生：静物、風景、人物とジャンル別に鑑賞し、描かれた形や色を発表する。
3. 3・4年生：ジャンル別に鑑賞し、描かれているものや作品の違いを発表する。
- 5・6年生：ジャンル別に鑑賞し、好きな作品とその理由を考えながら、作品の違いや作者の思いを考えて発表する。

④呉市立警固屋小学校・中学校（3年生・30人／7年生・40人）

実施日時／11月6日（金） 10：45～12：15

鑑賞作品／圓錫勝三《こかげ》・菅井 汲《タンブール》・

土屋幸夫《果てしなき餐食》・浜崎左髪子《青夜》

授業目標／さまざまな表現の作品を楽しむ。

授業内容／作品に表現されたかたちや色を見つけ、ワークシートに書き込みながら、表現の違いや幅広さを感じ取る。



(2) 鑑賞授業B（所蔵作品を持ち込まない）

①広島市立東野小学校（4年生・32人）

実施日時／10月27日（火） 14：30～15：15

授業目標／アートカードを用いた話し合いを通して、造形要素に着目しながら自分の感じ方で作品を見る。

授業内容／1. 8グループに分かれ、50種のアートカードを用いて、マッチングゲームを行う。

2. グループごとに定められたテーマ（「あたたかい」「やさしい」など）にあわせて、各自がカードを選び、選択理由とともにグループ内で各自発表。
3. 各グループの代表が、グループ全員の意見をまとめて、クラス全体に発表。



②広島県立三次高等学校（2年生・11人）

実施日時／11月26日（木） 10：40～12：10

授業目標／母校の先輩とその友人らの生き方や作品から、芸術表現の幅広さを知る。

(同校出身で池袋モンパルナスの画家・柿手春三を中心に、交友のあった画家も含めて検証する特別展が同市内で開催されるのを機に授業を実施)

授業内容／1. 柿手春三作品の画像をもとに、作品や生涯をたどる。

2. 柿手や、鬘光などの友人画家の作品から、作品の特色や時代性を感じ取る。

③呉市立倉橋西中学校（1年生・29人）

実施日時／1月22日（金）14：35～15：25

授業目標／1. 題材である「風神雷神」の主題に興味を持ち、日本の伝統的な美術の発想のよさやおもしろさを知る。

2. 同じ主題でも、さまざまな表現方法や技法があることを知る。

3. 描かれた内容や表現の特徴を自分なりに考えたり、人の意見を聞いたりして理解する。

授業内容／1. 自分の体験の中から、「自然を感じる」瞬間を思い出し、発表する。

2. さまざまな「風神雷神」（俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一、橋本雅邦）の複製を見る。

3. 好きな作品を選び、理由とともに発表する。

(2) 鑑賞授業C（ネットワーク美術館展（p.30参照）の活用授業）

1) 事前学習会（ネットワーク美術館展を鑑賞するための事前学習。各学校で実施）

①廿日市市立宮島中学校（1年生・10人／2年生・13人）

実施日時／9月7日（月）10：45～11：35

授業目標／1. 美術館に行き、広島ゆかり作家の作品を鑑賞することで、鑑賞活動への興味関心を深める。

2. 作品の中に制作者の想いが込められていることを感じさせる。

3. 主体的に鑑賞することで、自分の好きな作品を見つけ出すことができる。

授業内容／1. ネットワーク美術館展展示作品のワークシート（p.36参照）9種を用い、「色の工夫を感じる作品」「心の中を表していると感じる作品」「本物を特に見てみたいと思う作品」などを理由とともに発表する。

②廿日市市立原小学校（5年生・11人／6年生・7人）

実施日時／9月7日（月）13：55～14：40

授業目標／1. 広島ゆかり作家の作品の工夫されている点や表現方法など、すばらしさを味わう。

2. 美術館や芸術家の作品に関心を持つ。

3. 郷土を愛する心を持ったり、自分の生き方を考えたりする。

授業内容／1. こどもガイドブックの中の設問から、「作品に表現された季節」「作品の題名」を考え、理由とともに発表する。

2) 団体学習鑑賞会（ネットワーク美術館展会場において実施。こどもガイドブックを活用しながら鑑賞）

9月11日（金）廿日市市立廿日市小学校 6年生（1・2組） 76人

9月14日（月）廿日市市立廿日市小学校 6年生（3組） 38人

9月14日（月）廿日市市立宮島中学校 1・2年生 23人

9月16日（水）廿日市市立原小学校 5・6年生 18人